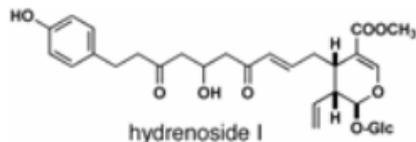


29TM-pm02

日本産アジサイ (*Hydrangea macrophylla*) 葉部の新規イリドイド成分
中村 誠宏¹, ○横田 奈美¹, 王 知斌¹, 松田 久司¹, 吉川 雅之¹ (¹京都薬大)

【目的】アジサイは、ユキノシタ科アジサイ属植物の総称であり、日本を原産とし世界中で数十種の品種が知られている。2008年に、アジサイの葉部の摂取による食中毒事例が発生した。その原因として青酸配糖体の関与が示唆されたが、後に否定されるなどアジサイの青酸配糖体成分についての知見は混迷していた。我々は、中国産アジサイ (*Hydrangea macrophylla*, 四川省栽培品) 葉部および茎部の含有成分の探索研究を行い、新規青酸配糖体 hydracyanoside A [単離収率: 0.09% (葉部), 0.14% (茎部)], B, C, D, E, F を単離し、それらの絶対配置を含む全化学構造を明らかにした。¹⁾ 今回、*Hydrangea*属植物の含有成分の探索研究の一環として、日本産アジサイ葉部の含有成分の探索を行った。

【結果および考察】日本 (京都市) 産アジサイ (*H. macrophylla*) 葉部のメタノール抽出エキスを、それぞれ酢酸エチル, *n*-ブタノールおよび水にて溶媒分配し、ついで酢酸エチル分画および *n*-ブタノール分画を順相シリカゲル、逆相 ODS カラムクロマトグラフィーおよび HPLC を用いて繰り返し分離精製した。その結果、15種の既知成分とともに1種の新規セコイリドイド配糖体 hydrenoside I が単離された。新規成分の化学構造は、NMR をはじめとする各種物理化学データの解析および化学反応の結果から決定した。また、本アジサイ葉部には青酸配糖体が含まれていない事が明らかとなった。さらに、数種の *Hydrangea* 属植物葉部について青酸配糖体成分の有無を明らかにする目的で HPLC を用いた比較分析を行ったので併せ報告する。



1) *Tetrahedron Lett.*, **50**, 4639–4642 (2009); 日本生薬学会第 56 回年会, 講演要旨, P.187 (2009).